

令和7年度 第1回南伊豆町地域公共交通会議 議事録

開催日時 令和8年1月29日(木) 13:30～ 南伊豆町役場 3階議場
出席委員 15名(会長・副会長含む)
代理出席 3名
欠席委員 4名
事務局 3名

1 開会

事務局による開会宣言

2 会長挨拶

会長である南伊豆町長より挨拶

3 南伊豆町における公共交通の概要について

(1)南伊豆町地域公共交通会議の概要

質疑応答：質疑なし

(2)南伊豆町公共交通の概要

質疑応答：質疑なし

4 協議事項

(1)令和8年度 南伊豆町自主運行バス事業について

(説明者：事務局 資料No.3～4)

- ・全12系統(うち2系統は自家用有償旅客運送)を継続
- ・各系統について説明
- ・自家用有償旅客運送バス「なのはな号」について説明

(質疑応答等)

- ・質疑なし

(承認事項)

議長が以上の事項につき、原案どおりでよいか委員に諮り、賛成多数で承認されました。

(2)地域間幹線系統の継続について

○地域間幹線系統の継続事業評価について

(説明者：静岡県地域交通課 田中氏 資料No.5～6)

- ・静岡県の地域間幹線系統評価基準について説明
- ・県内の乗合バスを取り巻く環境について説明
- ・事業者の費用削減対策の参考例紹介
- ・

○国庫補助（地域間幹線系統）の継続について

(説明者：東海自動車株式会社 土屋氏 資料No.7)

①石廊崎線

- ・当該路線は、伊豆急行の下田駅から南伊豆町の休暇村を經由し石廊崎オーシャンパークまでを結ぶ路線であり、南伊豆町の南崎地区から下田市内への通院、通学や下田駅から南伊豆方面への観光利用、また町内の小学生、中学生の通学の足として利用されている。
- ・下田市と南伊豆町をまたぐ利用は、通常、当該路線の一日当たりの利用人数の半数近くになる。観光地であることから、観光客の利用もあり、通院等の利用も多く当該路線が高齢化率の高い南伊豆地区の住民の足として機能している。
- ・石廊崎線については、平成27年から国庫補助路線として運行しており、新型コロナウイルス感染症の影響を受け収支が大幅に悪化したが、現在は回復傾向にある。しかしながら、引き続き収支状況が厳しいことから、引き続き国庫補助による支援を要望する。

②下田下賀茂線

- ・当該路線は、伊豆急行線の下田駅から下田市と南伊豆町の境であり「銭瓶峠」をとおり南伊豆町の中心である下賀茂までを結ぶ路線。日頃は通学、通院、買物利用が主となっておりますが、下賀茂温泉への観光利用もあり、特に2月から3月にかけてのみなみの桜と菜の花まつりの際は、観光客が増加する路線。鉄道のない南伊豆町から下田駅までを結ぶ系統であり、住民にとっての移動手段として、重要な役割を担っており、欠かすことのできない路線。
- ・通常、市町を跨ぐ利用が全体の約5割となるが今年度は3割程度と少ない。

- ・ 下田駅下賀茂線では再編から2年経過したが引き続き収支状況が厳しいものがあるため国庫補助による支援を要望する。

○利用促進の取組

(説明者：事務局 資料No.8)

- ・ 小学生及び中学生の通学補助、高校生の通学補助を実施
- ・ 高齢者の通院時のバス利用補助金を実施
- ・ 観光チラシ、観光施設にバス情報を掲載・掲示

(質疑応答等)

- ・ 質疑無し

(承認事項)

議長が以上の事項につき、原案どおりでよいか委員に諮り、賛成多数で承認されました。

5 閉会

事務局による閉会宣言